Ⅱ　一般入試

Ⅱ-1：出願資格

次のいずれかに該当する者又は２０２７年３月までに該当する見込みの者

⑴　大学を卒業した者

⑵　学校教育法（昭和２２年法律第２６号）第１０４条第７項の規定により学士の学位を授与された者

⑶　外国において学校教育における１６年の課程を修了した者

⑷　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１６年の課程を修了した者

⑸　我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１６年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

⑹　外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が３年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者

⑺　専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）又は専攻科（当該専攻科を置く専修学校の特定専門課程（学校教育法第１２５条の２第１項に規定する特定専門課程をいう。）における教育との連続性に配慮した教育課程を編成していることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

⑻　文部科学大臣の指定した者（昭和２８年文部省告示第５号参照）

⑼　学校教育法第１０２条第２項の規定により他の研究科に入学した者で，大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

⑽　大学院において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，２２歳に達したもの

⑾　大学に３年以上在学した者で，大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

⑿　外国において学校教育における１５年の課程を修了した者で，大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

⒀　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１５年の課程を修了した者で，大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

⒁　我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１５年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で，大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

⑴注１）　「Ⅱ-1：出願資格」⑵に該当する者とは，次のいずれかの者です。

①　独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行する学位授与（申請受理）証明書を提出できる者

②　学位規則（昭和２８年文部省令第９号）第６条第１項の規定に基づき独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定を受けている専攻科に在籍する者で，当該専攻科の修了が見込まれること及び当該者が学士の学位の授与を申請する予定であることを当該専攻科の置かれる短期大学長又は高等専門学校長が証明できるもの

⑴注２）　「Ⅱ-1：出願資格」⑶に該当する「外国において学校教育における１６年の課程を修了した者」とは，外国において正規の学校教育における１６年の課程を修了した者です。

なお，大学卒業までに１６年を要する国で修学した者が，飛び級している場合は，１６年目の課程を修了していれば，２２歳未満であっても上記に該当します。

⑴注３）　「Ⅱ-1：出願資格」⑼に該当する「学校教育法第１０２条第２項の規定により他の研究科に入学した者で，大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの」とは，他の研究科へ飛び入学により入学した学生が本研究科へ入学を希望する場合で，「Ⅴ　各入試共通事項」の「３　出願手続　（５）出願に必要な書類等」に記載の「⑮　他研究科での在学期間証明書」を提出できる者です。

⑴注４）　「Ⅱ-1：出願資格」⑽ に該当する「大学院において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者」とは，出願資格の審査として，書類審査の後に学力検査（筆記試験，口

頭試問）を行い，出願資格を認めた者です。
ただし，提出書類等により，個人の能力の確認ができる場合は，筆記試験は免除することがあります。

(注５)　「Ⅱ-１：出願資格」⑿に該当する「外国において学校教育における１５年の課程を修了した者」とは，大学卒業までに１５年を要する国において，飛び級し，大学教育を修了した者も含みます。

(注６)　「Ⅱ-１：出願資格」⑽ ～⑭により出願する場合は，出願に先立ち入学資格審査を行いますので，「Ⅴ　各入試共通事項」の「１　個別の入学資格審査」により，期限内に入学資格審査の申請を行ってください。

Ⅱ-２：入学者選抜方法等

入学者の選抜は，●及び○の試験科目の結果を総合して行います。
試験科目及び日時の詳細は，「Ⅱ-３：試験当日の日程」の表を参照してください。
試験場は受験票を送付する際に通知します。

学位プログラム	コース	書類審査	筆記試験		口頭試問
			専門科目	外国語科目（※）	
数理情報科学	数理科学	●	●	○	●
	物理科学				
機械システム 都市創成科学	都市環境創成学	●	●	○	●
地球環境生命科学	生物科学	●	●	○	●
	地球科学				
	惑星物質科学	●		○	●
	地域環境学	●	●	○	●
	環境生態学				
	農芸化学				
	植物ストレス科学				
	応用植物科学				
	応用動物科学				

（※）○の外国語科目は筆記試験を実施せず，英語能力試験の成績を利用します。

Ⅱ-３：試験当日の日程

数理情報科学学位プログラム

コース	２０２６年１２月２５日（金）	
	専門科目	口頭試問
数理科学	9:00～12:30 数　学	14:00～
物理科学	9:00～12:30 物理学	14:00～

Ⅱ-３：試験当日の日程

機械システム都市創成科学学位プログラム

<table>
<tr><td rowspan="2">コース</td><td colspan="2">２０２６年１２月２５日（金）</td></tr>
<tr><td>専門科目</td><td>口頭試問</td></tr>
<tr><td>都市環境創成学</td><td>10:00～12:00
①構造力学，②水理学，③地盤工学，④意匠※，⑤計画学※，⑥材料学，⑦環境学※の７科目から，以下に示す志望する教育研究分野が指定する１科目を含む３科目を選んでください。

<table>
<tr><th>教育研究分野</th><th>指定する科目</th></tr>
<tr><td>木質構造設計学</td><td rowspan="2">①構造力学</td></tr>
<tr><td>鋼構造設計学</td></tr>
<tr><td>水工学</td><td>②水理学</td></tr>
<tr><td>地盤・地下水学</td><td>③地盤工学</td></tr>
<tr><td>建築設計学</td><td rowspan="2">④意匠</td></tr>
<tr><td>歴史・景観学</td></tr>
<tr><td>建築計画学</td><td rowspan="2">⑤計画学</td></tr>
<tr><td>都市・交通計画学</td></tr>
<tr><td>木質資源利用学</td><td rowspan="2">⑥材料学</td></tr>
<tr><td>コンクリート構造設計学</td></tr>
<tr><td>都市・建築環境学</td><td rowspan="2">⑦環境学</td></tr>
<tr><td>水質衛生学</td></tr>
</table>

また，岡山大学工学部都市環境創成コース及び環境理工学部環境デザイン工学科卒業者・卒業予定者以外の受験者に対しては，上記の７科目からの選択数を，志望する教育研究分野が指定する１科目を含む２科目とし，代わりに，「入学後の研究計画」についての小論文が課せられます。
なお，志望する教育研究分野が指定する科目の成績を重視します。

※　④意匠：内容は，建築設計学，景観工学です。
⑤計画学：内容は，建築計画学，都市地域計画学，交通計画学です。
⑦環境学：内容は建築環境学，水質・上下水道学です。</td><td>13:30～
岡山大学工学部都市環境創成コース及び環境理工学部環境デザイン工学科卒業者・卒業予定者以外の受験者に対する口頭試問は，「入学後の研究計画」を重視した内容とします。
岡山大学工学部都市環境創成コース及び環境理工学部環境デザイン工学科卒業者・卒業予定者も口頭試問を実施します。</td></tr>
</table>

Ⅱ-３：試験当日の日程

地球環境生命科学学位プログラム

<table>
<tr><td rowspan="2">コース</td><td colspan="2">２０２６年１２月２５日（金）</td></tr>
<tr><td>専門科目</td><td>口頭試問</td></tr>
<tr><td>生物科学</td><td>9:00～10:30
志望する教育研究分野に関連した小論文</td><td>13:00～</td></tr>
<tr><td>地球科学</td><td>9:00～10:30
志望する教育研究分野に関連した小論文</td><td>13:00～</td></tr>
<tr><td>惑星物質科学</td><td></td><td>9:30～
口頭試問は，オンラインにより実施するため，来学不要です。詳細については，受験票送付時にお知らせします。</td></tr>
<tr><td>地域環境学</td><td>10:00～11:30
共通科目及び選択科目を課します。共通科目は環境問題に関する設問とし，全ての受験者に解答を求めます。
選択科目は，指定科目群に関連する設問とし，受験者は志望する研究指導教員が指定する科目群を１つ選択して解答してください。
<table>
<tr><td colspan="2">指定科目群</td></tr>
<tr><td>A</td><td>水生動物学，植生管理学，土壌物理学，生産基盤管理学，農村計画学，測量学</td></tr>
<tr><td>B</td><td>水理学，水資源利用学，流域水文学，水文環境管理学，構造力学，土質力学</td></tr>
<tr><td>C</td><td>土壌科学概論，土壌の物質移動学，土質力学，廃棄物マネジメント，環境影響評価学</td></tr>
</table></td><td>13:00～</td></tr>
</table>

Ⅱ-３：試験当日の日程

地球環境生命科学学位プログラム

コース	２０２６年１２月２５日（金）	
	専門科目	口頭試問
環境生態学	10:00～12:00 森林生態学，水系保全学，昆虫学，生物生産システム工学，資源管理学，食料環境政策学，国際農村開発学のうちから志望する教育研究分野が指定する１科目を選択してください。	13:30～
農芸化学	10:00～12:00 岡山大学農学部卒業者・卒業予定者は，①～④の４科目全てを解答してください。 ①農芸化学基礎（有機化学基礎，生物化学基礎，応用微生物学基礎） ② 有機化学 ③ 生物化学 ④ 応用微生物学 上記以外の受験者は，次の3科目を解答してください。 ・必須科目：上記①の１科目 ・選択科目：上記②～④のうち１科目 ・選択科目：志望する教育研究分野の小論文の１科目	13:30～
植物ストレス科学	10:00～12:00 植物遺伝生理解析学，情報伝達機構解析学，植物ストレス制御学，植物分子生理学，植物分子動態学，ウイルス分子生物学，植物-病原菌相互作用学，植物-昆虫相互作用学，植物環境微生物学，植物多様性解析学，植物ゲノム解析学，統合ゲノム育種学のうちから志望する教育研究分野が指定する１科目を選択してください。	13:30～
応用植物科学	10:00～12:00 植物病理学，遺伝子工学，作物遺伝育種学，園芸利用学，作物生産学，果樹園芸学，野菜花卉園芸学，作物学のうちから志望する教育研究分野が指定する１科目を選択してください。	13:30～
応用動物科学	10:00～12:00 家畜繁殖学，動物発生工学，動物生理学，動物育種学，動物遺伝学，動物栄養学，動物応用微生物学，生殖補助医療学のうちから志望する教育研究分野が指定する１科目を選択してください。	13:30～